

令和5年度 第20回

「家族のきずな」

エッセイ集



公益財団法人

モロロジー道徳教育財団

共催：麗澤大学／麗澤中学・高等学校

後援：千葉県／千葉県教育委員会／柏市／柏市教育委員会／我孫子市教育委員会／鎌谷市教育委員会／流山市教育委員会
野田市教育委員会／松戸市教育委員会／柏市PTA連絡協議会／株式会社ジェイコム千葉 東関東局

「人づくり」による「国づくり」を モラロジー教育では「3つの心」を育てます。

「思いやりの心」

相手の立場に立って考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感性をはぐくみます。そして、自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深いやさしさを育てます。

「感謝の心」

大自然の恵み、また家庭や国の恩恵などに対する感謝の心は、自分の命はもちろん、あらゆる命を大切に尊厳性をはぐくみます。そして、恩返しをしたり社会や世界に貢献していく勇気を育てます。

「自立の心」

夢や志に向かって、主体性を持って生きようとする自立の心は、家庭人、社会人、また国民としての責任感や使命感をはぐくみます。そして、地域や国際社会に目を向けていくたくましさを育てます。

モラロジーとは

モラロジー (moralogy) は、「道徳」を表すモラル (moral) と「学」を表すロジー (logy) からなる学術名で、「道徳科学」を意味します。日本はもとより世界の倫理道徳の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした科学「総合人間学」です。

公益財団法人モラロジー道徳教育財団

モラロジー道徳教育財団は、倫理道徳の研究と社会教育を推進する研究教育団体です。大正 15 (1926) 年の創立以来、「道徳で人と社会を幸せに」という指針のもと社会における諸課題の道徳的解決に資する研究・教育・出版・福祉事業を展開しています。また、日常の活動を通じて SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けて取り組んでいます。

令和5度 第20回 「家族のきずな」エッセイ集



目次



ごあいさつ

公益財団法人
モラロジー道德教育財団 理事長 廣池 幹堂



講 評

選考委員長
柏市小中学校校長会 会長 入澤 直樹



入賞・入選作品一覧



ご応募いただいた小学校



入賞作品



入選作品



いあいさつ

公益財団法人モラロジー道徳教育財団 理事長

ひろいけ
廣池 もとたか
幹堂

モラロジー道徳教育財団では、子供たちが家族の大切さに気付き、豊かな心を育むことを目的として、毎年「家族のきずな」をテーマとしたエッセイ募集事業を実施しております。今年度も千葉県、千葉県教育委員会、柏市、東葛六市（柏、我孫子、鎌ヶ谷、流山、野田、松戸）の各教育委員会、ならびに柏市PTA連絡協議会、ジェイコム千葉東関東局よりご後援をいただき、二十回目を迎えることができました。

本年も小学五年生を対象として、東葛六市の教育委員会によるご協力のもと、各小学校に募集を呼びかけましたところ、千二百七十編のエッセイが寄せられました。本冊子には、その中から厳正なる審査によって選ばれた入賞八編と入選四十二編を掲載しております。

多くの児童から寄せられたエッセイは、家族との

心の交流や感謝の心、祖先を思う心、いのちのつながりの大切さなどが素直に表現されていて、どの作品も感動的なものばかりです。ご応募いただいた児童の皆様、ご指導や募集にご協力をいただいた各学校の先生方、ならびに原稿の審査にご尽力を賜りました選考委員の皆様、各団体、協賛企業をはじめとする関係各位に改めて感謝を申し上げます。

コロナ禍やネット環境の発達により、人と人との関係が薄れつつある等の報道も目にしますが、いかなる時代におきましても教育の原点は家庭です。家族・親・祖先とのつながりを感じるとき、子供たちは喜びと生きる力を得ることができます。このエッセイ募集事業と本冊子に掲載された心温まる作品が、少しでも「家族のきずな」を強め、家庭・学校・地域社会が一体となって子供たちの豊かな心を育む機会の一助となりましたら、誠に幸いに存じます。

講評

選考委員長
柏市小中学校校長会 会長

入澤直樹いりさわ なおき

今年度の家族のきずなエッセイに多数の応募があり、本当にありがとうございました。それぞれの作品は、体験した子供たちにしかなることができない唯一無二のエピソードばかりでした。また、ご家族との姿が目につかび、心温まる素敵なエッセイだと感じます。今回の作品審査をとおして、改めて【家族】の素晴らしさを感じました。

さて、今年五月からはコロナも五類となり、様々な人との関わりが増えています。人間関係のすべての基本となるのは【家族】との関わりだと感じます。安心して過ごせるご家族との居場所が、子供たちが新たな一歩を踏み出す際の【勇氣】になると思います。今回の作品からも、家族だけでなく、祖父母、学校の先生方との関わりから感じたことを自分の言葉で表現している作品が多く見られました。また、家族への愛や感謝だけでなく、自分の行動をふり返り、新たな考えにたどり着く姿にも出逢うことができました。加えて、それぞれのエッセイから、家族であっても、感謝の言葉を率直に伝えることの大切さを教えていただきました。ありがとうございます。選考委員一同、いずれも甲乙つけがたい作品に囲まれ、選考は難航しましたが、それ以上に私たち選考委員が子供たちから温かな心、人を思いやる心に接することができ、幸せな時間を過ごすことができました。そして、私たち大人は、未来を担う子供たちの前をしつかり歩まねばならないと強い責任を感じました。

応募してくださった皆さん、ありがとうございます。そして、入賞された皆さん、おめでとございます。

最終選考委員

選考委員長	入澤直樹	柏市小中学校校長会 会長
副選考委員長	川原容一	公益財団法人モロロジー道徳教育財団 学校教育センター センター長
選考委員	佐野あゆみ	柏市教育委員会 学校教育部指導課 指導主事
	羽山英男	柏市教育委員会 学校教育部指導課 指導主事
	酒井学	(株)ジェイコム千葉 東関東局 局長
	宮下和大	麗澤大学 国際学部 准教授
	川部翔	麗澤中学高等学校 教諭
	濱島直隆	公益財団法人モロロジー道徳教育財団 広報局 局長
	富田裕之	公益財団法人モロロジー道徳教育財団 コンテンツ開発局 局長



入賞・入選作品一覧

賞

千葉県知事賞
僕の決意

鎌ヶ谷市立五本松小学校 5年
なか つか ゆう と
中 塚 優 翔

賞

柏市長賞
ぼくの家族の手紙

柏市立土南部小学校 5年
いし もり たい し
石 森 大 志

賞

柏市教育長賞
家族が言ってくれてうれしかった言葉

柏市立光ヶ丘小学校 5年
ます だ ゆ め
増 田 優 芽

賞

柏市小中学校校長会会長賞
大すきだよ、じっちゃん

柏市立土南部小学校 5年
ま の め ゆ み か
馬 目 結心花

賞

柏市PTA連絡協議会賞
楽しくて最高の家族

松戸市立幸谷小学校 5年
あ く ざ わ か な た
阿久澤 奏 多

賞

ジェイコム賞
野菜がみんなをつないでる

柏市立柏第四小学校 5年
かね えだ め い
金 枝 芽 依

賞

麗澤大学賞
自分のお兄ちゃん

松戸市立幸谷小学校 5年
やま もと あき つく
山 本 晃 継

賞

モラロジー道徳教育財団賞
受けつがれていくもの

鎌ヶ谷市立五本松小学校 5年
やま < ち ひろ と
山 口 大 翔

入 選

★掲載順=氏名50音順

ふだんの日常	松戸市立東松戸小学校 5年	秋 元 海 音
おじいちゃんの畑	我孫子市立布佐南小学校 5年	飯 尾 芽 生
家族と本音で話す時間	野田市立南部小学校 5年	飯 泉 結
生まれた私	柏市立酒井根小学校 5年	飯 村 和歌菜

毎日ありがとう	柏市立風早北部小学校 5年	石川 梓 羽
私の家族への気持ちが変わった手紙	流山市立東深井小学校 5年	岩本 あかり
お母さんの言葉	柏市立光ヶ丘小学校 5年	浴町 紗 与
家族の大切さ	柏市立柏の葉小学校 5年	江連 咲 良
私がこの家族を選んだ理由	流山市立流山北小学校 5年	遠藤 朱 希
「いつもありがとう」	柏市立光ヶ丘小学校 5年	大島 采 花
当たり前の事	鎌ヶ谷市立五本松小学校 5年	尾形 莉 子
あきらめたら、そこでおわり	我孫子市立我孫子第一小学校 5年	小川 瑞 葵
初めての手術	柏市立土南部小学校 5年	鬼澤 大 和
祥ちゃんの結こん式	柏市立柏第三小学校 5年	香取 恵 菜
おじいちゃんから学んだこと	柏市立光ヶ丘小学校 5年	川部 陽 禾
無限	柏市立風早北部小学校 5年	河村 莉 愛
叱ってくれる事へのありがたさ	松戸市立柿ノ木台小学校 5年	金 志 恩
よく考えてみれば道徳	柏市立柏第三小学校 5年	小 峯 理伊那
お母さんの「ニコッ」!	松戸市立東松戸小学校 5年	齋藤 優 月
妹の生まれた日	松戸市立東松戸小学校 5年	佐藤 莉 世
楽しかった家族三人との思い出	松戸市立東松戸小学校 5年	篠原 皐 綺
ボカボカ笑顔のママ	松戸市立東松戸小学校 5年	菅原 凜
家族の協力	柏市立土南部小学校 5年	杉山 実 織
お母さんありがとう	柏市立柏第三小学校 5年	鈴木 朱 莉
いえなかったこと	鎌ヶ谷市立五本松小学校 5年	鈴木 和 眞
いつもいっしょに	松戸市立東松戸小学校 5年	鈴木 優 空
私の母子手帳	柏市立土南部小学校 5年	高芝 麻 畝
母の言葉	柏市立柏第三小学校 5年	鳥居 典 十
ふだん言えない心の中	柏市立光ヶ丘小学校 5年	早川 明 音
ありがとう、お母さん	野田市立南部小学校 5年	林 愛 桜
姉妹とお母さん	松戸市立幸谷小学校 5年	藤 沢 瑠々果
家族の本当の気持ち	柏市立光ヶ丘小学校 5年	古川 つきの
父と母が親で良かった	松戸市立柿ノ木台小学校 5年	細川 千 夏
じいちゃんとはあちゃん	我孫子市立布佐小学校 5年	堀 合 海
親の愛は変わらない	流山市立東深井小学校 5年	松 岸 ゆ に
うれしかったお母さんの言葉	松戸市立東松戸小学校 5年	山下 栞 奈
うどんパワー	我孫子市立布佐小学校 5年	山 田 陸 斗
家族思いのお母さん	松戸市立幸谷小学校 5年	山野邊 瑠 子
ぼくが泳げるようになった日	柏市立風早北部小学校 5年	山 本 詩
うれしかった家族からの言葉	柏市立風早北部小学校 5年	山 本 幸 央
前向きな気持ち	柏市立光ヶ丘小学校 5年	山 本 世都香
姉と弟のちがいは	柏市立田中小学校 5年	龍 満 唯 花

応募いただいた小学校

◇ 柏市 (15校)

柏市立 柏第一小学校
柏第三小学校
柏第四小学校
光ヶ丘小学校
田中小学校
土南部小学校
酒井根小学校
中原小学校
松葉第一小学校
花野井小学校
十余二小学校
風早北部小学校
手賀東小学校
高柳小学校
柏の葉小学校

◇ 我孫子市 (4校)

我孫子市立 我孫子第一小学校
布佐小学校
湖北台西小学校
布佐南小学校

◇ 鎌ヶ谷市 (2校)

鎌ヶ谷市立 道野辺小学校
五本松小学校

◇ 野田市 (4校)

野田市立 宮崎小学校
東部小学校
南部小学校
七光台小学校

◇ 流山市 (7校)

流山市立 八木南小学校
東深井小学校
鱒ヶ崎小学校
向小金小学校
流山北小学校
おおたかの森小学校
おおぐろの森小学校

◇ 松戸市 (5校)

松戸市立 高木第二小学校
柿ノ木台小学校
牧野原小学校
幸谷小学校
東松戸小学校

エッセイ応募総数

1,270編

応募小学校総数

37校

最優秀賞作品

千葉県知事賞

僕の決意

鎌ヶ谷市立五本松小学校

五年

中塚 なかつか

優翔 ゆうと

僕も妹もとっても弱虫でした。うそをついたり、こそこそしたり、自分が悪くないように話したりすることがありました。

ある時、妹がうそをついた時に、お母さんが僕と妹をよんで、泣きながらしんげんに話をしてくれました。

「うそをつくのほ、弱虫のしょうこだよ。お母さんは、どんなことがあっても正直に言っただけがいいし、いっしょに謝る存在でありたいよ。」

僕と妹もいっしょに泣きました。お母さんが本当に僕と妹のことを思ってくれていると感じたし、自分の悪い所も受け入れてくれる家族がいてくれて、幸せだと思いました。

僕はその瞬間から、強い人間になろうと決意しました。自分の悪い部分から目をそらさずに向き合えるようになりたいし、自分にもまわりにもうそをつかない、正直な人間でありたいと思いました。あの時から一年、僕の決意はより一層強くなっています。

優 秀 賞 作 品

柏 市 長 賞

ぼくの家族の手紙

柏市立土南部小学校

五年

石森 いしもり大志 たいし

ぼくの家は、たんじょうびやお祝事の時に手紙を、かならずわたします。

ふだん、はずかしくて言えない事や感謝の言葉を、手紙にかいておくります。なぜ手紙を書くことに決めたのかと言うと、ぼくはふだんあまり話さないので、一回お母さんが手紙を書いてみてって言われたことから書くようになりました。

はじめてぼくが手紙を書いてわたした時は、お母さんはとてもよろこんで泣いていました。お母さんに、どの手紙が一番うれしかったって聞いたとき、お母さんは全部うれしかったけど、ふせんにお仕事がんばって、ママ大好きだよって書いてある紙をいつも、持ち歩いて仕事がんばっているよって見せてくれました。ぼくが前にかいた手紙をずーっともっててくれてたんだなっておもったら、うれしかったです。ぼくの家のには、手紙がいっぱいしまつてあります。

優 秀 賞 作 品

柏市教育長賞

家族が言ってくれてうれしかった言葉

柏市立光ヶ丘小学校

五年

増田 ますだ優芽 ゆめ

私は四年生の時、友だちからいやな事をされたことがあった。そのいやな事は、だれかに言いたいけど、だれにも言えない…というかんじのことだった。一日だけだったけど「学校に行きたくないな。いやな事があってもだれにも相談なんて、できないもん。」と、思うことがあった。

これまでたえてきたけど、もうたえきれないと心の中で思う日がとうとうやってきた。その日の夜はお父さんが会社から早く帰ってくる日だった。だから私はお父さんに、相談することにした。十個以上相談したいことがあって全部ねる時に話した。

そしてすべて話し終わった時、私は泣いていた。その時お父さんが、「お父さんは、いつまでも、優芽の味方だからね。たえないでお母さんでもいいから相談したい人になんか事があったらすぐに言うんだよ。」と言ってくれた。私はその言葉が、心にひびいてもっと泣いてしまった。

おきる時間になった。気持ちのいい朝だった。

優 秀 賞 作 品

柏市小中学校校長会会長賞

大すきだよ
じっちゃん

柏市立土南部小学校 五年

馬目まのめ結心花ゆみか

じっちゃんは、わたしのおじいちゃんです。今は、空で生活しています。わたしが、保育園の時に星になりました。元気だった、じっちゃんが、とつぜん星になったので、みんなたくさん泣きました。さみしくて苦しくて、たくさん泣いた分、じっちゃんのことをたくさん考えました。せがなくて、動物やお花が大好きで、だれにでもやさしくて、わたしはじっちゃんのがことが大すきです。お母さんはじっちゃんをスーパーマンだと言っています。ドキドキした時にじっちゃんのことを考えると落ちつくし、さみしい時、じっちゃんがそばにいる気がするので、やっぱりじっちゃんは、わたしにとってもスーパーマンです。

「じっちゃん、空でもわらっていますか。いつも見まもってくれて、ありがとう。そばにいないくても、心は近くに感じるよ。これからもがんばるから、またメールください。お母さんが、会いたいって言ってたから、ゆめに出てきてあげてね。大すきだよ、じっちゃん。」

優秀賞作品

柏市PTA連絡協議会賞

楽しくて最高の家族

松戸市立幸谷小学校 五年

阿久澤 あぐざわ
奏多 かなた

「おぎゃー。おぎゃー。」

二〇二二年、八月十日に草太というぼくの弟が産まれました。コロナで病院にはいけなかったけれど、赤ちゃんが産まれたと連絡がきた時は家でお父さん達と大よろこびしました。初めて草太が家に来た時、ぼくは

「オレがミルクをあげたい。」

と言いました。初めてミルクをあげた時、この子がぼくの弟なのかとまだ少し信じられませんでした。それから一年半の今、草太は歩けるようになって、もう完全に家族の一員です。草太はたまにお母さんに怒られるけれど、家族全員を笑わせてくれてにぎやかにしてくれます。草太にはこれからもたくさんごはんを食べて、たくさん遊んでもらいたいと思います。そして、これが命のつながりなんだと改めて感じました。また、ぼくや二人の弟を産んでくれたお母さん、いつも仕事をがんばっているお父さんに感謝しています。

優 秀 賞 作 品

ジェイコム賞

野菜がみんなをつないでいる

柏市立柏第四小学校

五年

かねえだ
金枝めい
芽依

「見てー！トマトが赤くなってる！」

私は一年生の時から、母と近所の畑で野菜作りをしている。たまに失敗する事もあるけれど、畑の野菜はすごく美味しい。畑でがんばって成長した野菜は、どの子もみんなかわいくて大好きだ。

ナスが苦手な父も、ビールを飲みながら畑のナスを「最高だね！」と言って食べている。兄は、小松菜いっぱいのパスタを作ってくれる。たくさん収穫できた時は、友達にもおすそ分けをする事があるけれど、みんなが「立派な大根だね！」「芽依ちゃんちの枝豆、美味しかったよ！」と笑顔で喜んでくれて、とてもうれしい。

母も昔、母の母、亡くなった祖母と畑で野菜を作っていたんだよと話をしてきた。さらに、祖母の実家は元農家。なんだか、うちは野菜でつながっているのかもしれないと思った。みんながつないで、みんなを笑顔にする野菜作り、これからもずっと続けていきたいな♪

優 秀 賞 作 品

麗 澤 大 学 賞

自分のお兄ちゃん

松戸市立幸谷小学校

五年

山本 やまもと晃継 あきつぐ

自分のお兄ちゃんは、知的障害があります。理由は特に分かりませんが、お母さんに聞いたところ、生まれつきか後天的なものなのかどっちか分からないと言っていました。

ですが、最近のお兄ちゃんは知的障害があるのに、少しずつできることがふえてきています。例えばゴミ出しやペットボトルの入った箱を所定の位置に運んだり、空いたダンボールをたたんでかたづけたりできるようになりました。それを見守っている家族全員が自分のことのようによろこんでいます。自分も、お兄ちゃんが新しくいろんなことができるようになってくると、とてもうれしく感じます。

最近、すごく進歩したと思うことが一つあります。それは、自分がなにか悪いことをしたときに、すかさずお兄ちゃんが注意してくれるようになりました。個人的には正直ちょっとうっとうしい所もありますが、でもやっぱりお兄ちゃんの小さな進歩を感じられるので、これからも応援したいと思います。

優秀賞作品

モラロジー道德教育財団賞

受けつがれていくもの

鎌ヶ谷市立五本松小学校

五年

山口 やまぐち大翔 ひろと

ぼくの家族は、祖父、祖母、父母と姉、ぼくの六人家族です。

毎年、祖父の誕生日には甘納豆のお赤飯が出てきます。お赤飯と言えば、ふつうはあずきを使ったものですが、北海道のお赤飯は、もち米に食紅を混ぜて炊き、後から甘納豆をさとうががついたまま混ぜるので、ほんのり甘いのが特ちょうです。

祖父は、

「亡くなったおばあちゃんの味だ。うまい。」

と毎年うれしそうに食べているのを見て、この味は亡くなったおばあちゃんから祖父へ、祖父から母へ、母から姉とぼくへと、代々受けつがれている味なんだと気づき、むねが熱くなりました。

ぼくは、十年後も二十年後も三十年後も、この甘納豆のお赤飯で祖父の誕生日をお祝いしたいです。できたら、姉の家族やぼくの家族と一緒に。

ふだんの日常

松江市立東松戸小学校

五年

秋元 あきもと

海音 みお

私は生まれたときに、こうしんこうがいれつという病気で生まれてきてお父さんもお母さんもその病気を知って泣いていたらしい。そして私は、物心がついたときから一つ思い始めていました。その思い始めていたことは、

「家族にめいわくかな」

という一言でした。その時からお母さんはごめんねという言葉を出すようになりました。

私はお母さんに言いました。

「ごめんねなんて言わないで」

そのとき私が思っていたことは、お母さんは悪くないでしょ、しょうがないでしょ。

そしてその日から今までお母さんお父さんおばあちゃんおじいちゃんいろいろな人たちにささえてもらいました。

そして大人になったときはそのみんなに感謝を伝えたいです。

おじいちゃんの畑

我孫子市立布佐南小学校

五年

飯尾 いとお

芽生 めい

わたしのおじいちゃんは畑でたく山の野菜を育てています。わたしはおじいちゃんが育ててくれた野菜が大好きです。理由は二つあります。一つ目はとれたての野菜をたっぷり使って作るお母さんの料理がとてもおいしいからです。新せんだからそのままや、ゆでるだけでもじゅう分おいしいとお母さんはよく言います。二つ目はそれぞれの野菜にはおじいちゃんの気持ちがつぶりこめられているからです。「めいちゃんは〇〇が好きだから」と、わたしたちが好きな野菜は多めに作ってくれたり、成長の様子を教えてくださいます。でも、野菜作りは、ひ料をまいたり草取りをしたり、なわやほうをせっ置きして苗がたおれないようにしたりと、とても大変そうですね。わたし達のことを考えながらおいしい野菜を作ってくれるおじいちゃん。わたしもおじいちゃんのことを思っって手伝いなどをしていきたいです。

家族と本音で話す時間

野田市立南部小学校 五年 飯泉 いいずみ 結 ゆい

私の家はむだ話がとても多い家だと思います。空いている時間にリビングに集まる事が多く、主にくだらない話です。例えば、好きなものの話や、今日あったいやな事の話などほとんど本音で話すことが出来ます。ときにはきびしい言葉が返ってくる事もあり、きずつく事もあります。しかし、家族の性格を知っているので、不思議と不快になることはありません。

家族以外の人と話すときの事を考えてみました。相手に対して不快にさせたくない気持ちに故に、本当に思っていることは言えていない気がします。そのため、家族と本音で話せる時間は自分の中のストレス発散につながっています。

家族のだけれど、集中している時に話しかけてしまい「うるさい!」とおこられる事もたまにはありますが、家族と本音で話せるのは、私にとってかけがえない時間なので、これからも大切にしていこうと思います。

生まれた私

柏市立酒井根小学校 五年 飯村 いむら 和歌菜 わか菜

一年生の時にお父さんが教えてくれました。「お前がな生まれる時は、大変だったんだぞ。もしかしたらな、産む時どちらかが死んでしまうかもしれないかったんだ。それでも、おれがたのんで、お母さんになんばって産んでもらったんだ。結果、だれも死なずにすんだんだよ……」

お父さんが話している時、私は、なみだがあふれました。昔の話をされるといつも泣くかなみだ目になってしまいます。なんばって産んでくれたお母さんにとっても感謝しています。生んでくれたから、今こうして生きていられるし、いろんな友達に会えたから、だから、お母さんの役にたつことをしていこうと思いました。今生きていられる幸せをこれからもずっと大切にしていきたいなと思います。そして私が生まれる時、本当にだれも死なずにすんだのがとてもうれしいです。

これからさきにながおこるかわかりません。でも大切な命とともになんばっていこうと思います。

毎日ありがとう

柏市立風早北部小学校

五年

石川 いしかわ

梓羽 あずは

今でもずっとささえてくれている家族。相談したい時、困っている時ずっとやさしく会話をしてくれる家族が大好きです。毎日仕事や家事、私達のため大変なことをがんばってくれてありがとうと思います。休みの日にはいろんなところへ連れてつてくれたりしてくれて私はこんなにやさしい親から産まれてとてもよかったです。うれしかった、産んでくれてありがとうございます。お母さんお父さんをおこらせてしまうこともたくさんあるけれど、毎日やさしくしてくれたり、はげましてくれる家族がいつまでも大好きです。

私のために言ってくれたり、考えてくれたりして毎日つかれているにごめんなさい。だけどいつもありがとう、と思います。これから先もどんなことがあるかわからないけど、これからもよろしくお願ひします。私はずっと家族の味方です。なぜなら、これらのことや、私を毎日大事に育ててくれて感謝しかないからです。私はずっと家族を大事にします。

私の家族への気持ちが変わった手紙

流山市立東深井小学校

五年

岩本 いわもと

あかり

私が二年生の時、授業で自分の名前の由来を調べてくるという課題の時、両親から手紙をもらいました。手紙の内容に自分が生まれてきてくれて良かったというふうに書いてくれていてその時は、私の両親は自分のことを「こんなにも大切に育ててくれてるんだ。」と思い家族の大切さをあらためて感じました。

その日から私は、母の日、父の日になるとプレゼントに必ず、「いつも育ててくれてありがとう。」と一言メッセージを書き、両親が仕事で家事が出来なかったりしたら、三つ上の兄と一しよに家事を完ぺきに終わらせたり、両親のために出来ることを毎日、続けてやりました。

今年の父の日には、兄、母と一しよに盛大に感しやし、植物が好きな父に、私達の思いを植物にのせ、プレゼントをしました。

これからも、家族がいることのありがたさを心から感じ、今まで通り何事も起こらない平和な日々をすごしていきたいです。

お母さんの言葉

柏市立光ヶ丘小学校 五年 浴町 えきまち 紗与 さよ

私は四年生のころ、係が同じ女の子からの態度がきつく学校に行きたくなくなって、係の仕事をするごとにいつも悲しい気持ちになっていた。相だんしたいけどなんて言えばいいのかわからなくて相だんも出来なかった。

ならい事の帰りの車の中でお母さんに、

「悲しい事でもあった？何でも話してね。」

と言われて家に帰って女の子のことを話した。すると、「いままでよくがまんしたね。そっか、話しくかったんだね。お母さんはね…。」

とやさしく私の意見を聞きながらお母さんの意見を言ってくれた。私はそのおかげで女の子に自分の意見を言えるような気がした。

次の日、私は女の子に自分の意見を伝え、今は仲良く話している。今考えたとんでお母さんは私がなやんでいることに気がついたのか不思議です。でも、そのおかげで自分の意見をまちがっていても言えるようになりました。

家族の大切さ

柏市立柏の葉小学校 五年 江連 えづれ 咲良 さくら

いつもとなりにおいてくれる家族。家族はいつも、やさしい笑顔で、私のことを見まもってくれている。私はいつも、家族に支えられて生きている。つまり、私にとつて家族は、かけがえのないそんなものだ。絶対に、人は一人では生きていけない。人と人が支え合って生きていくものだ。それで私も、家族と支え合って生きている。

お母さんやお父さんは私にきびしい時もあるけれど、それは私のために言ってくれていること。私の未来を考えて言ってくれていること。これは、とても大切な言葉。少しきつく言われて反こうしてしまふこともあるけれど、お母さんの気持ちを考えたらとてもひどいこと。私のことを想って言ってくれるお母さんには、とても失礼な事だ。でもお母さんは、困っている私を見たらすぐによりそって味方してくれる。

家族がすつとそばにいてくれるのは幸せな事。この気持ちをいつか、家族に伝えたい。

私がこの家族を選んだ理由

流山市立流山北小学校 五年 遠藤 朱希 えんどう あき

私は、色々な習い事をしています。特に水泳はジュニアオリンピックを目指して一年生の時から家族おじいちゃん、おばあちゃんみんなが協力してくれています。けど、タイムは全然切れません。毎回大会のたびに落ち込みます。

そんな時、家族がいつも応援してくれて特に兄弟はいつも土日本当は遊びたいのに私の大会のために応援してくれます。コロナで会場に來れないので、動画配信TVの前でおうえんしてくれた事を知りました。なみだが出ました。いつもけんかばかりの兄弟だけど、本当はいつも私の事を気にしてくれて家族みんなが支えてくれてる事、そのおかげで、私が大好きな水泳ができる事、けんかをしても家族はうらぎらないこと、私はこの家族が大好きです。よく、子供は親をえらべないと聞くけど、私はこの家族のところにもうまれてくってお腹の中に入ったんだと思います。この家族にうまれて幸せです。

「いつもありがとう。」

柏市立光ヶ丘小学校 五年 大島 采花 おおしま ことは

人に感謝をすることはとてもすてきなことです。ある先生がいました。先生は、ありがとう、感謝をするような良いことがあるでしょう。としつ間をしました。相手が良い気持ちになるなどのたような意見ができました。正かいは、自分がうれしくなるです。といいました。相手にうれしいことをすると自分にもうれしさがあります。セロトニンという幸せホルモンが産まれます。このことから、私は感謝をよく伝えるようにしようと思いました。

まず、何かもらったときに使おうと思いました。お皿にご飯が配られました。家族に「ありがとう。」

と感謝を伝えてみました。

「いつもあなたは、感謝してくれるねえ、ありがとう。」

このときはっとしました。感謝すると自分もうれしくなるし、いつか自分にかえってくるんだ。そう実感させてくれた家族に感謝。

当たり前の事

鎌ヶ谷市立五本松小学校 五年 尾形^{おがた} 莉子^{りこ}

私のお母さんは、毎日、仕事に出かけています。夕方、家に帰ってから、家の仕事もしています。私は、きれいに洗われた洗たく物も、あたたかい食事もでてくる毎日が当たり前だと思っていました。

ある日、お母さんが体調をくずして、ねこんでしまいました。そのため、私はお母さんがしていた家の仕事を手伝うことになりました。しかし、普段から私は、家事をしていなかったので、洗たく物を干すのも、料理をするのも、何をしたらよいか分からず、とまどってしまいました。お母さんは毎日、こんなにたくさんの仕事をしていたのだと初めて気がきました。

お母さんは家族のために、外でも家の中でも一生けん命働いてくれています。毎日の生活の中で、目に見えない当たり前のことは、当たり前にすぎているため、気付きにくいことが分かりました。当たり前の事ほど、感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

あきらめたら、そこで終わり

我孫子市立我孫子第一小学校 五年 小川^{おがわ} 瑞葵^{みずき}

わたしは、国語が苦手です。けれど全ての教科に
おいて、あきらめて答えが見つかる、ということは
絶対に有り得ません。だから、みんなあきらめない
で目標に向かってがんばっています。わたしは、家
族の「あきらめたら、そこで終わり」という言葉に、
はげまされた事があります。この言葉のおかげで、
がんばろうという気持ちになることができました。

わたしが思う「あきらめたら、そこで終わり」と
いう意味は、努力を大切にということだと思いま
す。だから、わたしの家族は、努力はむだにはなら
ない、きつとどこかで役に立つという思いをこめて、わ
たしに伝えたと思います。今、改めて考えてみると、
とてもやさしい一言だったと感じています。「あ
きらめたら、そこで終わり」というやさしい言葉をか
け、わたしをおうえんしてくれた家族に、もう一度
ありがとうと言ってあげたいです。

初めての手術

柏市立土南部小学校 五年 鬼澤 おにざわ 大和 やまと

今から二年前。ぼくが三年生の時に、病気が見つかった。病気が見つかったのは耳鼻科で鼻の検査をしたときに、逆性菌と言つて鼻の中に菌が生えると言つて病気があった。大病院に行つて、詳しくけんさをする、手術と入院が必要だという事が分かりました。その時に、恐怖を感じた事を覚えています。ママが、入院中はお昼にきてくれました。昼は大丈夫だけど、夜はさみしさがあふれてきました。けいたい、パパが心配だったのかメッセージをたくさん送つてきました。そして手術の日。全身ますいだつたので、マスクを付けるとすぐにねむりました。気がつくくと手術は終わっていました。後で聞いたのですが手術は一時間ほどあったそうです。そして、二日ほど入院して、ぼくは退院しました。病院を出ると、パパがむかえにきてくれました。

久しぶりに家に帰ると、姉や弟が「おかえり。」と笑顔で言つてくれて、とても安心しました。家族へ、ありがとう。そして大好き。

祥ちゃんの結こん式

柏市立柏第三小学校 五年 香取 かとり 恵菜 えな

七月一日パパの弟の祥ちゃんの結こん式でした。その日は朝早くから弟の、ようち園の運動会で私は朝から吹奏楽部の朝練だったので大急ぎでパパの車に乗りこみ結こん式場に向かいました。家族だけの小さな結こん式でしたが、祥ちゃんが登場するとパパの妹の麻衣姉ちゃんが一番初めに泣いていました。他の家族も泣いています。麻衣姉ちゃんに「どうして泣いているの？」と聞いたら「祥ちゃんは産まれた時から足に障害があり何度も手術をし、大人になつてからも命にかかわる病気をし、たくさんつらい思いをしてきたので幸せそうな顔を見て嬉しくて泣いていたんだよ」と教えてくれました。ほかの家族も同じ気持ちだったんだと思いました。私にも二人弟がいます。ふだんは元気で「うるさいな」と思つたりしますが、少しずつパパ達弟妹みたいな「きずな」を作つていけたらいいな。と感じました。

おじいちゃんから学んだこと

柏市立光ヶ丘小学校 五年 川部 陽禾 かわべ はるか

私のおじいちゃんはこの間亡くなってしまいました。た。

おじいちゃんは絵が上手です。何個も何個も作品を残してくれました。とくに私はお花の絵が好きでした。おじいちゃんの絵を見ると、いつか私もそんな絵を描いてみたいと思います。

おじいちゃんはハーモニカも上手でした。おじいちゃんは『ふるさと』という曲をふいていました。『ふるさと』を聞くと、おじいちゃんを思い出します。前は『ふるさと』を歌えなかったけど、おじいちゃんのおかげで歌えるようになってうれしかったです。

おじいちゃんは亡くなる前に、おじいちゃんとの別れの時間を通して、そこでしか感じられないものを学んでほしいと言っていました。

私はこれから、おじいちゃんから学んだことを活かして、一日一日大切に楽しく生きていきたいです。

無限

柏市立風早北部小学校 五年 河村 莉愛 かわむら りあ

これは私が親に助けられた時の話です。当時の私は、くらべられてばかりで自分に自信がありませんでした。兄弟の兄と弟は、勉強もスポーツも良くできていて、友達も多い。対して私は友達も少なく、勉強もスポーツも普通。私にはこれといった特技もありませんでした。私は毎日「明日も学校か」と思いつながらねていました。

二学期が始まってから数日たった日、私は別の学年の子が自分の悪口を言ってるのが聞こえてしまいました。それから学校に行くのが怖くなって、夜お母さんに相談しました。お母さんは私の話をしんげんに聞いてくれました。そして私が話し終わって部屋に戻ろうとした時、お母さんが

「大丈夫、生き方は一つじゃない無限にあるから」と言ってくれました。たった一言なのになみだが溢れて来ました。

それから私は、前向きになりました。そしてなやみはお母さんに全部話すようになりました。

叱ってくれる事へのありがたさ

松戸市立柿ノ木台小学校 五年 金きん 志恩しおん

私は最近、父や母とけんかばかりしている気がします。でも、私の父や母は最終的に許してくれます。ただ私は毎回ひどい態度をとってしまっていました。

ある日、私は母になぜ親は子供の事を叱るのか聞いてみました。すると、母は

「子供の事を愛しているからだよ。」
と言ってくれました。

でも、そのときの私にはよく分かりませんでした。ついこの間、私は友達とけんかをしてしまいました叱られてしまいました。そのとき父が、「社会には相手の事を想って叱ってくれる人はいないよ。」と言いました。

私は、その言葉を聞いて親が子を叱るのは意味があったことに気づき、このときやっと母のいった事が理解できました。

このことをきっかけに、私は父や母が叱ってくれることに対してありがたく思いました。

よく考えてみれば道徳

柏市立柏第三小学校 五年 小峯こみね 理伊那りいな

わたしたちを支えてもらっている家族。よく考えれば、家事のだいたい九十から九十五パーセントをおかあさんに、仕事のほぼ百パーセントをおとうさんにやってもらっていると思います。おとうさん、おかあさんはとても大変で、でも子どもにできないこともあります。わたしたちにできることは、一、おてつだいをできるはんいです。二、マッサージなどですが、がんばれば支えになるのかなあと思っています。

わたしは、おてつだいのほかに、思うことがありません。それは、家族から学校以外の「道徳」を教えるもらっていると思うのです。

「声かけなくボールをなげられるのはいやだな」など、人とのせつしかたとかを教えてもらっていると思います。学校では「道徳」は教科書で勉強しますが、家族からは「リアル」で勉強すると思います。リアルの道徳で勉強し、子供は育つと思いました。

お母さんの「ニコッ」!

松戸市立東松戸小学校

五年

齋藤 さいとう

優月 ゆうづき

私のお母さんはいつもやさしくて、仕事などもがんばれる、そんな人です。仕事で夜、少しおそくなっても私のことを心配してくれるし、相談にものってくれます。

六年近く続けているピアノの習い事も、お母さんが「わからないことなら、できるかぎり教えるよ!」と言ってくれます。小さいころに公園でころんだったら、「大丈夫?」と言ってばんそうこうをはってくれたり、よく一緒に遊んでくれたりもしました。そして毎年私のたん生日には、朝に必ずパンでケーキを作ってくれます。その味が大好きで、今でもおかしにきょうみがあります。そして、勉強でわからないことは、やさしく教えてくれます。

けんかをしてしまいう時があると、できるだけ「ごめんね」を自分から言い、そして「ありがとう」を言うようにしています。すると、「ニコッ」と笑ってくれました。私は、そんなお母さんが大好きです。

妹の生まれた日

松戸市立東松戸小学校

五年

佐藤 さとう

莉世 りよ

二〇一六年、お母さんに、「妹が出来るよ。」

と言われました。その時わたしは、「いっしょに遊んだりできるな、楽しみなな。」と思っていました。けれど想ぞうとはちがいで、お母さんは入院、お父さんは仕事で、私はおばあちゃんの家にあずけられ、当時中国にいたいところもいっしょに遊んでくれました。お父さんが、ようち園をいやがる私をむりやり連れていったりした事や、毎日泣いていたのを覚えています。

二〇一七年、一月に妹が生まれ、お母さんがたい院し、元の生活にもどりました。妹ができた事もうれしかったけれど、なによりお母さんと会えたのがうれしくて、思わずだきしめました。

私は当時悲しかったけど、今思うと家族とまたはなれたら、また同じようになりそうと思えます。でも昔よりもっと家族を大切にしようと思えるようになりました。

楽しかった家族三人との思い出

松戸市立東松戸小学校 五年 篠原 皐綺 しのはら さき

私は九才まで、お母さん、お父さん、と私でくらしていた。とても楽しかった。

休みの日は、車で出かけていた。そんなある日、私は悲しい思いでなかなか寝ることができなかった。お母さんは何回も

「ごめんね…。いっしょにいれなくなつて。」

その理由はお母さんとお父さんがりこんしてしまつたからだ。私はお母さんについて行つた。それも、りこんを知つたのは約一週間前だつた。それでも私は元お父さんの事を今でもお父さんと思つている。お母さんは私の悲しい気持ちを分かっている。私は月二回、お父さんと会えることになつた。

お父さんと旅行などたくさん今まで行つている。十才のたんじょう日はお母さんとお父さんの二人にいわつてもらつた。サプライズで、ケーキが出る予定だつたけど、お店の人がわすれていてそれでたんじょう日会はおわつた。それでもとてもうれしかった。それはひさしぶりに三人でご飯を食べたからだ。

ポカポカ笑顔のママ

松戸市立東松戸小学校 五年 菅原 凜 すがわら りん

私のママは家族のために仕事をしてくれて帰ってきたらすぐにご飯を作つたり、せんたくなどをしてご飯を食べ終わつたら食器あらいをしています。とても大変そうなので私が「何か手伝おうか?」といつてたらママは「いいの?」といつて私は食器あらいを手伝つたけれどママはまだ大変そうで学校から帰つてきて、何かできることはないかと考えて料理やせんたくは一人ではできないけれど、せんたく物をたたんだり、テーブルの上をかたづけたりはできるのやってみました。ママが帰つてきて、

「めっちゃきれい、ありがとぅ!。」と笑ってくれました。その笑顔を見て、心がポカポカしました。そして心の中で自分をはねているような感じがしました。

ママはいつもより、少しよゆうをもって家事をしていました。とてもうれしくなつて、これからも手伝いをして、ママのポカポカ笑顔がみたいです。

家族の協力

柏市立土南部小学校

五年

杉山 すぎやま

実織 みおり

私が三年生のころの話です。ある日の持久走大会の日、私は試走がはしれなくて本番の日は一番最後の列から走ることになりました。自分では精一杯やったものの毎年十位以内をとっていたのに結果は十二位でした。私は悔しくて泣いてしまいました。その夜、お母さんが帰ってきたとき、まずさきに「今日はがんばったね」と帰ってきた最初にそう言ってくれました。食事のときも「すごいよかったよ。」や「ほんとにがんばったね。」とほめてくれました。私はその経験と言葉をバネに四年生の持久走大会にむけて練習をしました。その時お母さんも協力してくれました。早く走れる走り方をおしえてくれました。そして迎えた四年生の持久走、家族の応援をむねに走りました。努力がみのりみごとに五位をとることができました。家族の力で五位をとることができてすごいうれしかったです。家族に感謝をつたえたいです。いつもありがとう。

お母さんありがとう

柏市立柏第三小学校

五年

鈴木 すずき

朱莉 あかり

みなさんは、いやな事が学校で起きた時どうしますか。私は母に相談します。その時いつも感じる事があります。

私は、学校で友達に会う事を楽しみにしています。が時々いやな事も起こります。

例えば、友達に悪口を言われた時、「なんで友達なのにそう言う事を言うのだろう。」と心の中でモヤモヤします。暗い気持ちで帰って来ると母は、いやな事があったのかなとすぐ分かるそうです。相談すると、優しい言葉や面白い話で、元気をつけてくれます。相談すると、自分の気持ちが暗い気持ちから明るい気持ちになるのです。

一日働いて疲れているのに、私に優しくしんげんに相談に乗ってくれるから、自分の気持ちだが、「学校に行きたくないなあ。」の気持ちから、「お母さんがんばっているからこわいけど学校がんばろう。」という気持ちに変わるのです。こうした事から、私は家族への感謝を感じています。

いえなかつた日

鎌ヶ谷市立五本松小学校 五年

鈴木 すずき 和眞 かずま

ぼくが生まれてから十一年いつも大切に育ててくれました。そんな家族がぼくは大好きです。それぞれ自分のやることがあるなか相談にのってくれたり遊んでくれたりしてくれます。けれどぼくはそんな家族にすっかり「ありがとう」や「ごめんね」という言葉がいえませぬ。たとえば毎日仕事と家事を両立しているお母さんには、自分から「ありがとう」といえませぬ。他にもお姉ちゃんとかけんかをしたときに素直に「ごめんね」といえてませぬ。

ぼくは、これまで「ありがとう」や「ごめんね」という言葉をいう機会があつたにもかかわらずいえることができませんでした。そんな問題児ともいえるぼくのことを受けとめてくれたお母さん、お父さん、お姉ちゃん、おばあちゃん、おじいちゃんを一生大切にしていきたいです。また、作文を通してあらためて「ありがとう」や「ごめんね」をいう機会を大切にしていきたいと思いました。

5つも5つよじ

松戸市立東松戸小学校 五年

鈴木 すずき 優空 ゆら

母はいつもいそがしい。コロナ禍で在宅勤務がふえても、リモート会議がずっと続いている。それどころか、家事をしたり、僕や姉のめんどうまで見られてくる。その中で、とうとう、在宅勤務がなくなつた。母は会社でもいそがしいらしく、帰つてくると、いつも気が重そうな顔をしている。そんな母は無理を言つて会社を休み、僕や姉の部活動や習い事も見に来てくれた。ただ、そんな中でも仕事はしていたようだ。いつも僕の前ではつかれた顔を見せない母はいつもいそがしいのだ。

だから、僕は母とできるかぎりいっしょにいて、つかれをいやしてあげたい。いっしょに遊びに行つて楽しませてあげたい。家事を手伝ってあげたい。そんな思いから僕はこのタイトルにした。「いつも、いっしょに。」

私の母子手帳

柏市立土南部小学校

五年

高芝^{たかしば} 麻畝^{まほ}

昨日私が学校から帰ってきたら、お母さんが書類を書いていました。私が「それ何？」と聞くと「予防接種があるから麻畝の母子手帳を見て書いているんだよ」と言っ、私の母子手帳を見せてくれました。そこには、私がお母さんのおなかにいる時のお母さんの体重や体の状態、私が生まれた時の時間や身長体重、生まれてからの成長の記録やお母さんの言葉が書いてありました。最初のページには、私が生まれた翌日の写真がはってありました。私は思わず「これだれ？私？」と言いました。お母さんは「そうだよ。こんなに小さかったんだよ」と言っ、生まれた時の話や赤ちゃんのころの話をしてくれました。私は夕方になるとよく泣いていたそうです。（たそがれ泣き）私は何も覚えていないけれど、お母さんの話を聞いて不思議な気持ちになり、大切に育ててくれたんだな、と思っ、とてもうれしくなりました。もっ、とたくさんのお話を聞きたいな、と思っ、

母の言葉

柏市立柏第三小学校

五年

鳥居^{とりい} 典十^{てんじ}

「自分の好きなこと、せい、いっ、ぱい、がんばれ」
 ぼくの母はいつもそういっ、てぼくのことをおうえんしてくれる。母は助産師の仕事をしている。毎日命と向き合っ、るハードな仕事だ。仕事につかれています。ぼくはろうに家族のことを気、つ、かっ、てくれています。ぼくは吹奏楽部でフルートをがんばっている。中学に進学しても吹奏楽部を続けたい。吹奏楽部や医学の道に進める中学校を志望している。そのために勉強をがんばっている。部活に勉強と毎日忙しい。そんなぼくのために母はお弁当をつくってくれたり、じゅくを送り、むかえをしてくれる。母も忙しいだろうに。そして決まっ、てぼくに声をかけてくれる。

「自分の好きなことをせい、いっ、ぱい、がんばれ」
 この言葉が元気のみなも、とになっている。これからがんばっ、ていけ、そう、だ。

ふだん言えない心の中

柏市立光ヶ丘小学校 五年 早川 はやかわ 明音 あかね

いつもは、家族がそばにいることなんて当たり前のことだと思って毎日をすごしています。それに、家族のことをちゃんと考えたことがありません。そんな私を支えて育ててきてくれて一つの命を大切にしてくれて、すごくありがたさを感じます。いつも最後まで味方をしてくれて、いつも「自分の道をすすき進んで。」と言ってくれるやさしい両親に私は感謝しきれないほど、感謝しています。なのに私は感謝を少ししか伝えたことしかありません。夜おそくまで働いてくれて、自分の好きなことをやれているからこそお礼をしたいと思います。時には、頭にきてイライラすることもおこったりすることもあるけれど、心の中にはいつも家族がいて、感謝の気持ちでいっぱいです。一番近くにいて、一番見方をしてくれて、一番応援してくれている家族にお世話になっっている分、ありがたうを言いたいです。生んでくれて、立派に育てて来てくれてありがたうとたくさん言いたいです。

ありがとう、お母さん

野田市立南部小学校 五年 林 はやし 愛桜 まお

私は、四月にけがをしてしまいました。体育館の鉄の柱におでこをぶつけて切ってしまったのです。ばつしをするまでは、着がえをする時にきずが当たらないようにしたり、歩くぐらいいしかしてはいけなかったりなど、ふだんの日常が大きく変わりました。そんな時に助けてくれるお母さんでした。ばつしをしてもとの生活にもどるまでは、いつも気を配ってくれました。「大丈夫？」といつも聞いてくれて、そのおかげでだんだんおつてきました。ふと手術した日の事を思い出しました。一番悲しそうに泣いていたお母さんが最初に思いうかんできました。ずっと心配して何よりも私を大事にし、努力してくれたお母さん。その事が分かり、なみだがこみあげてきそうになりました。

私のためにずっと努力してくれたお母さんに、今言いたいです。

「ありがたう。大好きだよ。」

姉妹とお母さん

松戸市立幸谷小学校 五年

藤沢^{かじざわ} 瑠々果^{るるか}

五月十四日の母の日は、お姉ちゃんといっしょに、お母さんに感しゃの気持ちを伝えようと計画しました。

母の日は、お母さんにボールペンとカーネーションをプレゼントすることにしました。カーネーションの花言葉は、「無くで深い愛」です。お母さんは、いつでもわたしたちのために、おそくまで仕事をしてくれたり、お料理を作ってくれたりしてくれます。ふだんの生活の中でも、きちんと「ありがとう。」を感じられるのです。いつもはしっかりと伝えない「ありがとう。」を母の日には伝えられるといいな、と思いました。

お姉ちゃんとわたしと妹で協力して買った、思いのこもったすてきなカーネーション。お母さんはよろこんでくれるかな。

母の日の夜。みんなで声をそろえて、心からこういった。お母さん、いつもありがとう、と。お母さんは、おどろいたようによろこんでいた。来年もすてきな母の日にしたいです。

家族の本当の気持ち

柏市立光ヶ丘小学校 五年

古川^{ふるかわ} つきの

私の兄弟、五つ上のお姉ちゃん、二つ上のお兄ちゃん。こわい時もあるけど、本当はとてもやさしい。私が大変そうにしていると、声をかけてくれる。そして、小さいころは、二人の兄弟にたくさん遊んでもらったし、だからすぐに言葉を話せるようになった。今でも「お菓子、一口いる？」とか小さいことだけど、すごくうれしく思う。やさしいと思う。最近、ケンカすること多いけど、次の日にはもともとどおり。何もなかったように接してくれる。私が、がんばってあげれば応えんしてくれるし、悲しんでいれば心配してくれる。お母さんに任せっきりでみんな手伝わぬい時もあった。でも、「一人だけで生活した時大変だよ。」「家族のために」とおこられたりしてそれぞれが働くこともふえてきた。お母さんは仕事しながら家事をして、お父さんは家族のために朝から夜まで仕事をしている。お姉ちゃんお兄ちゃんも学校の勉強、部活、家の手伝い。そんな家族みんなに少しずつ恩返しをしたい。

父と母が親で良かった

松戸市立柿ノ木台小学校 五年 細川 ほそかわ 千夏 ちなつ

父と母が親で良かった。一人のときは特にそう思う。父と母、どちらかがそばにいてくれるだけで安心するからだ。なぐさめてくれたり、話したりしてくれる時の声は、とてもあたたかく感じる。

父と母が親で良かった。姉と妹といるときも、そう思う。母が私達を産んでくれなければ私達は今生きてはいなかったからだ。姉と妹ともよくけんかをするけれど、本当は姉も妹もやさしい人なのだ。

父と母が親で良かった。おこったときは、こわいけれど、ほめてくれたり、私のことでよろこんでくれたりするときは、すごくうれしい。

父と母のことを全部は知らないけど、私の家族であってくれることがうれしい。そして、私がこれからも家族と一緒にいられることに、感謝を忘れないように、これからはすこしいきたいと思う。

じいちゃんとはあちゃん

我孫子市立布佐小学校 五年 堀合 ほりあい 海 かい

ぼくには、岩手県におじいちゃんとおばあちゃんがあります。じいちゃんは、ステーキとカレーを作るのが上手です。ばあちゃんは、とてもやさしいです。ママがいないとき家に来てお世話してくれます。じいちゃんばあちゃんといると楽しいです。

ぼくが生まれる一年前東日本大震災が起きました。じいちゃんの町はつ波におそわれました。ばあちゃんは、保育園の先生をしていたので子どもをつれて山にげたそうです。パパとママは、じいちゃんとはあちゃんをさがしにいったそうです。じいちゃんとはあちゃんが無事だったから安心したそうです。でも親せきの家がつ波で流されたり、行方不明になりました。だからぼくの名前は、海と書きます。生まれました。だからぼくの名前は、海と書きます。だからぼくはじいちゃんとはあちゃんみたいにやさしい人になりたいです。じいちゃんとはあちゃんには長生きしてほしいです。

親の愛は変わらない

流山市立東深井小学校 五年 松岸 まつぎし ゆに

私は、半年前まではひとりっ子でした。でも、弟が生まれたことで私の世界がパツと変わってしまったのです。

もちろん、弟はかわいいし良い子なので、好きです。でも、両親は弟につきっきりで、一緒に遊んでくれなくなっていました。

今まで、兄弟がいると楽しそうとか、いいなあと思っていたけれど、実際に兄弟ができるとひとりっ子にもどりたいと思いました。

しかし「両親は弟だけを見ています。」そう思っていたのは私だけでした。両親は、弟だけじゃなく私もちやんとみていた。それがわかっただけで、心のつかえが取れたような気がしました。

今では、両親が私の事もちゃんとみているとわかって、もう一度私の世界が変わりました。弟は毎日毎日成長して、成長した事を報告するかのようになり、笑顔を見せてくれます。

この家の子は私だけじゃなくて弟もいる。家族四人で仲よくくらしたいです。

うれしかった家族からの言葉

柏市立風早北部小学校 五年 山本 やまもと 幸央 こお

四年生の秋に、学校でピアノの伴奏オーディションを受けました。絶対に合格したいと思ったので、毎日毎日学校から帰るとすぐに練習をして、弟に歌ってもらったり、父や母に聞いてもらったりしました。家族と出かける時も、車の中で楽譜を見ながら伴奏する曲を聞いたり、母にアドバイスをもらったり、出来ることは何でもしました。

でも残念ながらオーディションには受かることができませんでした。私はとても悲しかったです。でもそんなときに家族がこんな声をかけてくれました。

「結果はダメだったけれど家族皆で一緒に練習できて楽しかったよ。」

私はその時にまた次のオーディションにも参加しようと思う事ができました。家族がこの言葉をかけてくれなかったら前向きになつて次も参加しようと思わなかったのです。家族と一緒に練習してくれたことや、言葉がとてうれしかったです。次もがんばりたいです。

「うどんパワー」

我孫子市立布佐小学校

五年

やまだ
山田 陸斗

ぼくは、二週間に一回、「うどんタイム」というのがあります。うどんタイムとは、うどんを食べながら家族全員で話し合いや、なやんでいる事を話します。このうどんタイムでまだ来ていない家族がいたら、来るまで待ちます。家族全員がそろったら「うどんタイム」を始めます。

ぼくは、野球の事でなやんでいました。その話をすると、はげましをくれたり、アドバイスをしてくれました。そのときぼくは、とてもうれしかったです。まるでうどんを食べるようになやみを家族が食べてくれたようでした。「うどんタイム」には、なやみ事を食べてくれたり、力強く生きようと思う気持ちになれるので、これからも続けたいと思いました。

家族思いのお母さん

松戸市立幸谷小学校

五年

やまのべ
山野邊 瑠子

私のお母さんは、四月に一気に仕事が忙しくなりました。朝七時に家を出て、夜の十時すぎに帰ってくるという生活が、五月まで続きました。ですが、お母さんは一度も休むことなく働き続けて、朝食も夕飯もお母さんが用意してくれました。夕飯はお兄ちゃんが、作ってくれることもありましたが材料はお母さんが、買ってきてくれました。五月になってから、お母さんの仕事が落ち着き前と変わらない生活にもどれてうれしかったです。

ある日、お母さんが大量に買い物してきました。袋の中をのぞいて見ると、たくさんのおかしが入っていたので私は、

「どうしてこんなにたくさん？」

と聞きました。すると、お母さんは

「みんなに迷惑をかけたでしょ。」

とニコニコ笑いながら、言いました。私は、お母さんの方がつらかったはずなのだと思います。私もお母さんのような、家族思いな大人になりたいです。

ぼくが泳げるようになった日

柏市立風早北部小学校 五年 山本 詩やまもと うた

ある日全く泳げないぼくが、泳ぐ練習をするためにお母さんと市民プールに行きました。

一番初めに顔を水につけて潜るのに慣れてきたころ、次は両手足を伸ばして水に浮くことを練習しました。お母さんに身体を持ってもらいながら浮いていると、いつの間にか一人で浮くことができていた時、僕はおどろきました。最後にバタ足と水のかき方と息継ぎを教えてくれて、クロールの泳ぎが全部、出来るようになっていました。それでお母さんがほめてくれて、すごく嬉しくて、泳ぐのがとても好きになりました。泳ぎを教えてくれたお母さんにかんしゃしています。そんなお母さん、実はぼくと同じぐらい水が怖くて、今でも泳ぐことが出来ないのです。それなのに、どうして泳ぐコツを知っていたのか、ぼくは後で知りました。実はお母さんは泳げるコツを、調べてくれていたのです。

それを知った僕は心からありがとうって思いました。

うれしかったお母さんの言葉

松戸市立東松戸小学校 五年 山下 栞奈やました かな

私はちいさいころ、お母さんをひとりじめできてうれしかった。私が五さいのころに「もうすぐ赤ちゃんが産まれるから楽しみにしててね。」とお母さんに言われた。その時私は、自分のことが好きじゃなくなつたと思いいこんで、お母さんに話すと、「大好きだよ、もう一人子どもができてよ。」と言ってくれた。そのことを三年生の時に思いだしてお母さんに聞くと、「私は、栞奈がようち園に行くこと決まつたとき、うれしかった。でも悲しくてしょうがなかったからケアベアというぬいぐるみを買って集めてゆう気をもらつたの。」と話してもらつた。すごくうれしかった。そのぬいぐるみは私にくれたのだった。なんで大切な物をくれたのかは最近知つた。自分で考えた理由は、「私にも悲しくなつたらお母さんがゆう気をもらつたぬいぐるみでゆう気をもってほしい。」という思いだったのだ。だから私はぬいぐるみを今でも大切にしています。そんなお母さんが私は大好きです。

前向きな気持ち

柏市立光ヶ丘小学校 五年 山本 世都香 やまもと せとか

私が、三年生のときにお父さんの仕事で転校することを知った。とても悲しかった。大好きな町。大好きな学校だったから。

転校することを知った夜はおちつかず、ねつけなかつた。あの日の夜は、今でも覚えている。泣きそうになったのを「ぐっ」とこらえた。あまりにも気持ちが晴れなかつたから後日、親にある質問をした。お父さんはこういった。

「人は、出会いがあれば別れがある。これは人間にはつきものなんだ」と、言っていたお母さんは、

「今はさびしいけど、新しい所でもきつと、楽しくすごせるよ。」と、言ってくれた。このとき私は、とても心が温かかった。前向きな気持ちになれた。家族っていいなと思えた。家族のおかげで、前向きに転校することができた。

このことをきつかに、ふだんの生活で、前向きに考えることが多くなつた。あと、いつでも家族に感謝の気持ち。

姉と弟の違い

柏市立田中小学校 五年 龍満 唯花 りゅうまん ゆいか

私は、あまり弟に優しくできませんでした。なぜなら、弟はらんぼうなことをしてきて、人がイラつくような言葉を発つてきます。なので、私も冷たい言葉を使つたり、弟が話をしてることをあまり聞いたりしていません。

それでも弟は、自分がほしい物をゆずってくれたり、ちゃんと私の話を聞いてくれます。本当ならば、私がかちゃんとゆずらなければなりません。

弟はいつも、きれいな好きで後の事を考えて行動をしています。私も、その行動を見習いたいくらいでした。しかし、まだ弟にはやさしくできません。

その時お母さんが、「もう五年生でしょ。お姉ちゃんなんだから。」という言葉にえいきょうを受けました。

私は、もつと姉らしいことができなにかと思いました。母の言った通り、これから弟の気持ちを考え、弟がほしい物をゆずり合おうと思つています。母にも感謝したいです。

募集要項

応募資格

令和6年度、東葛6市（柏・我孫子・鎌ケ谷・流山・野田・松戸）の小学校に通う5年生

応募方法

- 400字づめ原稿用紙1枚以内。
- 応募用紙は令和6年4月を目安に各小学校に配布して学校ごとに集めて応募します。
（裏面が原稿用紙になっています）

応募期間

令和6年5月1日(水)～6月28日(金)（予定）

賞

千葉県知事賞・柏市長賞・柏市教育長賞・柏市小中学校校長会会長賞・柏市PTA連絡協議会賞・ジェイコム賞・麗澤大学賞・モラロジー道德教育財団賞

入賞 8作品

入選 42作品

発表・表彰

- 令和6年10月26日(入賞・入選作品の発表と表彰式)を行います。
- 入賞・入選作品は主催者発行の「エッセイ集」並びにホームページに掲載させていただきます。また、協賛企業にて作品のパネル展示を行います。

その他注意事項

- 応募作品は日本語で書かれたものに限りです。
- このエッセイ集に掲載されているエッセイの著作権は、主催者に帰属します。
- 作品中の個人情報についてはご本人及び保護者のご同意を受けたくうえで掲載させていただきます。
- 作品の掲載に関しまして主催者側の判断において一部を削除・修正させていただく場合がございます。

「家族のきずな」エッセイ集

令和5年10月28日発行(非売品)

発行 公益財団法人

モラロジー 道德教育財団

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

☎04-7173-3111(代)

<https://www.moralogy.jp/>

主催者の許可なく転載を禁止します。 6500

「家族のきずな」エッセイ集



【協賛企業・団体】

敬称略

- | | |
|-------------|-------------------|
| 青木建設(株) | (株)花園サービス |
| 家の光製本梱包(株) | 廣池学園モラロジー事務所 |
| (株)岩田印刷 | (有)廣瀬造園 |
| (株)エヌ・ワイ・ピー | (株)星広告 |
| 柏モラロジー事務所 | 松戸モラロジー事務所 |
| シナノ印刷(株) | 有限会社 丸勝電気 |
| 精文堂印刷(株) | マルタカラー |
| すみ建具店 | (株)三菱UFJ銀行 松戸西口支店 |
| (株)ダイキョープラザ | 薬膳料理 龍桂林 |
| 武田建装(株) | 横山印刷(株) |
| 千葉県モラロジー協議会 | リコージャパン(株) |
| 流山モラロジー事務所 | |
| Jcom千葉 東関東局 | セブンパークアリオ柏 |
| 東葛毎日新聞社 | パレット柏 |
| 柏市民新聞社 | テラスモール松戸 |

このエッセイ集は皆様からのご寄付を活用して作成しています。
本事業に賛同いただける方は右のHPよりご寄付願います。

